



市立岸和田市民病院だより

うらら

第10号
平成31年3月

【発行】
市立岸和田市民病院
広報委員会

特集

病院を支える 様々な職種

- ・食堂、売店
- ・病衣等寝具類の貸出
- ・院内保育所



シンガポールの動物園にて

当院は泉州地域唯一の国指定「地域がん診療連携拠点病院」です

【目次】

- P.2…様々な職種特集(食堂、売店)
- P.3…様々な職種特集(病衣等寝具類の貸出)
- P.4…様々な職種特集(院内保育所)
- P.5…医療技術局Pick Up～リハビリテーション部～
- P.6…専門・認定看護師の紹介・お話し(感染)
感染管理チーム活動(ICTラウンド)
- P.7…テレビ取材を受けました、救命活動日記
- P.8…ミニレシピ
写真館(大規模災害訓練、クリスマスロビーイベント)

～基本理念～

- ・市民の皆さんのが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。
- ・患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めます。

～基本方針～

- ・市民の皆さんのが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- ・患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- ・患者さんと職員の安全を確保する。
- ・地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- ・職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。



温かい心をもって、
良質で高度な
医療を提供します。

【特集】病院を支える様々な職種

食堂

普段の仕事内容

外来のお客様や職員の方にお食事を提供しています。

朝は7:30からモーニングメニューを用意しており、近隣の方々にもご利用いただいています。

昼は日替わり定食をはじめ、丼や麺、カレーなど、月によっては季節限定メニューも取揃えています。

その他にも焼きたてパン、手作り弁当、ホットスナックなど販売しています。



仕事中のモチベーション・意識していること

美味しい食事をつくることはもちろんですが、少しでも心休まる空間を提供できるかを日々考え、美味しかったと笑顔で帰っていただけるような接客をしています。

仕事中やりがいを感じる時

自分が作った料理をお客様が美味しそうに食べている顔を見た時にやりがいを感じます。



今まで一番印象に残っているエピソード

焼き立てパンを初めて提供する時に食堂全体がパンのいい匂いに包まれて、お客様の顔が笑顔になつたことは今も印象に残っています。



岸和田市の印象

いつもご来店いただくお客様と接していると、人情味あふれる人たちが多くて、素敵だなと思います。

売店

普段の仕事内容

接客・レジ対応や、商品陳列・発注・在庫管理などを主に行ってています。

職員様や入院患者様、外来のお客様が何度も足を運んでくださる売店になるように、商品の品揃えや笑顔での接客、日々のあいさつ、コミュニケーションを大切にしています。



仕事中のモチベーション・意識していること

笑顔で接客することはもちろんですが、何か商品を探していたり、困られているような状況であればこちらからお声掛けするなど、丁寧な接客を心掛けています。

仕事中やりがいを感じる時

お客様から「いつもありがとうございます」というお言葉をいただいた時や、新しく取り入れた商品を喜んでご購入されるお客様がいらっしゃった時には、とてもやりがいを感じます。



今まで一番印象に残っているエピソード

世界のごちそうカレーやおつまみ系の缶詰めなど、目新しい商品がよく売れる売店ですが、金の豚という置物が売れたことはとても印象的でした。11月から扱っている大手牛丼チェーン店のお弁当販売やご当地スイーツも大変好評です。



岸和田市の印象

店内が混雑し、ご案内まで手が回らない時に、お客様同士で商品のある場所を教えあったりされる姿を見ると、世話好きで親切な人が多いなと感じます。いつもご来店いただくお客様と接していると、人情味あふれる人が多くて、素敵だなと思います。

市民の皆さんへひとこと

どなたでもご利用できますので、岸和田市民病院の近くに来られる際は、ぜひ売店へお立ち寄りください。

スタッフ一同みなさまのご来店を心よりお待ちしております。

病衣等寝具類の貸出

普段の仕事内容

入院時に必要になる準備物（寝巻・タオル・日用品・紙おむつ等）を患者様にレンタル提供し、患者様、ご家族様の手間を軽減できるよう、病院内のそれら物品の在庫管理、補充・発注などを行っています。

申込書の回収や使用済み衣類の回収、各物品類の納品を行い、不足なくご利用者様に提供できるように日々責任を持って管理しています。



仕事中のモチベーション・意識していること

アメニティの入院セットは、日々の入院生活を少しでもより良くする為、患者様にもご家族様にも喜んで頂く為のサービスとなっております。

についてはそれら物品の検品を欠かさず、徹底した在庫管理を行い、少しでも入院生活が阻害されない事を意識して業務に従事しております。

仕事中やりがいを感じる時

関節的ではありますが、医療の世界でも微力ながら貢献できる業務であり、医療の資格、経験のない者でも患者様の為に従事できるこの仕事では、アメニティをご利用されている患者様の笑顔が一番のやりがいの源です。

今までで一番印象に残っているできごと

アメニティを申し込んで頂いている患者様とすれば、入院セットがあつて助かったというお言葉を頂いた時は、このサービスに従事している者としてこんなに嬉しい事はないと思いました。



岸和田市の印象

岸和田城もさることながら、国の名勝にも指定された近代日本庭園史において価値の高い「八陣の庭」。鉄腕DASHでも取り上げられた、人情味あふれる方が町を、市を支えておられると感じております。



市民の皆さんへのひとこと

アメニティを通じてご家族様も安心できるよう、患者様には質の高い入院生活を送って頂くお手伝いをし、病院の現場の方々には看護業務に専念できるよう業務軽減の提案を行い、地域急性期病院としての役割を担う岸和田市民病院に貢献できるよう日々邁進して参ります。

【特集】病院を支える様々な職種

院内保育所

仕事中のモチベーション・意識していること

『笑顔をたいせつに』

保育園はお子様、保護者様、職員等、常に人と接する場です。

その中で、笑顔は人を明るくさせ、自分自身を元気にしてくれます。

先生が笑うとお子様も笑う。先生が楽しいと思うと、お子様も楽しむことができる。

そのことを意識して日々、大笑いしたり、笑い声の絶えない保育園でありたいと思っております。



仕事中やりがいを感じる時

小さいお子様をお預かりする中で、初めて「○○せんせー」と呼んでくれた時、何とも言えず幸せな気持ちにさせてくれます。

そしてお子様たちが日々見せてくれる成長、たくさんの「やったー！」「できたー！」

「すごいねー！」とお子様、保護者様、職員で喜びあえる時にやりがいを感じます。



今までで一番印象に残っているエピソード

すくすくルームを退園していく時にいただいたお手紙を拝見し、泣いて泣いて登園した時のこと、登園時に「ばいばい」と笑顔で手をふれるようになった時のちょっと寂しく感じた母の気持ちや感謝の内容がつづられていました。私たちも思い出を懐かしく感じ、『また明日も頑張ろう！』と元気をいただきました。



岸和田市の印象

岸和田=だんじり ですね！

その団結力は地域の活性化につながります。小さいお子様からご老人までが一つの事に打ち込めること、ステキなことだと思います。

市民の皆さんへひとこと

子どもは宝だとよく言われます。

本当にその通りです。未来を担う子どもたちを大切に、皆でサポートしていくければと願います。

保育士さん募集中です。
よろしくお願ひ致します

当院では働きやすい環境整備のため職員の子どもを対象に院内保育所を設置しています。

医療技術局

PickUp

みなさん、リハビリの仕事について知っていますか？



リハビリの専門職について
ご説明します。

当院では、リハビリ医師1名、
理学療法士8名、作業療法士4名、
言語聴覚士2名で日々のリハビリ
業務を行っています。

リハビリの語源について紹介

リハビリテーションの語源は、ラテン語でreは（再び）、habilisは（人間らしい）という語で「再び人間らしく生きる」ことを意味します。現在使用されている「障害に対する機能回復、能力向上、社会復帰」というようなリハビリの意味となったのは、戦時中の頃からと言われており、負傷した兵士を一日でも早く回復させるためにリハビリテーションの言葉が世界に広まったと言われています。

リハビリテーションの言葉は知っているけれども、実際にどんなことをしているのか疑問に思う方も多いと思います。簡単にではありますが専門職の説明も踏まえ紹介していきたいと思います。

理学療法士（PT）の仕事って何？？



病気や怪我、高齢、障害により運動機能が低下した状態の方に、必要な運動や指導を行い、運動機能の維持や改善を図ります。特に起き上がり、座る、立つ、歩くなど日常生活で誰もが必要な動作の早期獲得を目指します。

例えば、体の状態に合わせて一人で出来ない人でも、動作を介助にて練習し出来るように目指していきます。退院時にその人に必要な筋力トレーニングやストレッチの方法、自宅にて安全でしやすい動作指導も実施しています。

作業療法士（OT）の仕事って何？？



基本的な運動能力から応用的動作能力（食事・トイレ・家事等、日常生活で必要な活動）、社会に適応する能力（就労・就学・社会参加）といった能力の維持や改善、その人らしい生活の獲得を目指しています。

例えば、病気や怪我から寝たきりにならないように起きる練習、トイレに行く練習、自分で食べる練習など将来の自宅での生活を想定し、より実生活に密着した練習を指導します。必要な方には自助具の選定や住宅改修のアドバイスも行います。

言語聴覚士（ST）の仕事って何？？



話す、聞く、食べる。自然に行っていることが病気や事故、加齢などで不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。

こうしたことばによるコミュニケーションや食べることの問題がある方々に、対処法を見出すために検査、評価を実施し、必要に応じて訓練、指導、助言、援助を行います。

感染管理認定看護師（森野幸代）



感染管理認定看護師とは、看護師免許をとったあと5年以上の経験を経て、半年間さらに感染管理の研修を受け試験に合格した者です。私は、感染管理室に在籍し、感染管理認定看護師として院内全体の感染管理の仕事を専門に行ってています。主な仕事の内容は、あらゆる部署で発生する感染に対する問題や情報を集約し、感染対策が適切に行われるよう支援する、また確認することです。つまり、感染症を院内に持ち込まない、持ち出さない、拝げないために、新たな感染症を作らないために日々活動しています。

例えば、インフルエンザは感染力も強く毎年冬になると流行します。そのため、流行前には研修を行い流行に備えます。また、流行期に入れば発生状況を把握し、感染対策を行います。今シーズンは特に流行のピークが観測史上最大となりました。当院でもインフルエンザでの入院やスタッフの罹患報告が多くありました。そのため、感染対策としてスタッフのマスク着用や手洗いの徹底からはじめ、周囲の流行状況を確認しながら、面会者のマスク徹底など、徐々に感染対策のレベルを上げ実施しています。その結果、集団発生することなく経過しています。

感染管理認定看護師として、日々様々な職種のスタッフと話し合い活動しています。

各専門職の知識・智恵を借りながら、組織にとって、職員にとって、そして何より患者さんにとって一番よい感染対策を行っていきたいと思っています。



感染管理チーム活動（ICTラウンド）

感染症を引き起こす病原体は、細菌、ウイルス、カビなどがあります。病院で発生している感染症の原因微生物は細菌が多く、その中でも抗菌薬の効かない薬剤耐性菌が問題となっています。世界では、薬剤耐性菌が増え続けており、このまま何もしなければ2050年には、年間1000万人もの人が耐性菌による感染症で亡くなると言われています。そのため国際会議で薬剤耐性菌の問題が取り上げられ、厚労省が国家プロジェクトを立ち上げました。病院では、抗菌薬を正しく使うよう具体的な目標が定められています。

そのような中、感染管理チームは薬剤耐性菌をはじめ様々な感染症をうつさない、うつらない、運ばないために活動しています。病院は様々なひとが出入りし、その中には免疫力の低下した人や感染症の人が混在しています。病院に出入りするすべての人々を感染症から守るために、医師、薬剤師、検査技師および看護師が協働し、それぞれの専門性を活かしながら情報・意見交換を行い感染管理に関する活動を行っています。

感染管理チームの活動内容は、薬剤耐性菌を作らないために抗菌薬を正しく使う支援、感染症を拝げないために感染対策の監視や、環境ラウンド、また職員を守るためワクチン接種や針刺し防止対策など行ったりしています。さらに医療従事者を対象とした講習会などの啓発活動と多岐にわたっています。

実際にケア現場で感染対策ができているか、ラウンドなどで確認をおこなっています。入院中や外来診察の際、お伺いすることができますが御協力をお願いします。



◆テレビ取材を受けました◆

昨今話題の女性医師問題に関して、関西テレビの『報道ランナー』さんからテレビ取材を受けました。丸1日密着取材で、数名の患者様にもご協力いただき、2018年9月20日に無事に放送されました。テレビ取材など初めての経験でどうなるかとヒヤヒヤしましたが、放送後職員、患者様、友人から「見たよ！すごく落ち着いていた」などと好意的な評価を頂き、ホッとしました。

某医大入試で女子学生の減点が発覚して以降、少し時間が経った今でも大きく取り上げられている問題ですが、“女性だから”だけではなく、人手不足という男女含めた医師全体の労働環境に起因する根深い問題だと思います。どの医師も患者様の命をお預かりしている使命を感じて日々働いていますが、休日・深夜業務、日々の長時間勤務が多々ある状況で医師全体が疲弊しているのが現状です。私達の改善努力も必要ですが、必要な時に適切な医療機関を受診するという皆様のご協力をいただけると非常に助かります。医師の疲弊が改善することでより良い医療を患者様に提供できるようになりますので、地域の先生方とも協力して皆様にわかりやすくお伝えしていければと思います。



★救命活動日記★

当院の中央検査部小林氏が心肺停止状態の人を救助しました。

どのような感じで現場に遭遇されたんですか？

私は2019年1月2日（水）和歌山県田辺市の救馬渓観音（すくまだにかんのん）に家族で厄払いに行ってました。すると、「だれかAEDを使える人はいませんか」と大きな声が聞こえました。現場に駆けつけると50代の男性が心肺停止状態で倒れていて、住職さんが胸骨圧迫しながらAEDを使える人を探していました。



現場に駆けつけた時の心情は？

現場の状況を見て一刻も早く救命処置を行なわなければいけないと思いました。

私は岸和田市民病院二次救命処置コース(ICLS)でインストラクターをしているので迷うことなく「私使えます」と名乗りでました。

救命活動中のどのようなことを思っていましたか？

すごく緊迫した状況でとにかく必死でした。

救命活動中は「早く心拍再開して」と思いながら救助にあたっていました。

緊張していましたが、AED利用の際に流れる操作ガイドは鮮明に聞こえており、緊張しながらも頭は冷静に働いていたと思います。

救急隊到着までAEDを実施し、操作中断中は住職さんと交代しながら胸骨圧迫を行いました。すると、救急隊到着の頃には意識が戻りました。



その時のことあらためて振り返って。

救命活動を行った所が砂利になっていて、救命活動後、膝を見ると血だらけになっていました。痛みや流血にも気付かないくらい必死だったんだなあと思いました。

その日の夜に救急隊の人から電話がかかってきて、患者さんの無事が分かりほっとしました。また救急隊の方からお礼の言葉をいただけた時は嬉しかったし、日頃の活動が人の役に立ててよかったと思いました。

ミニレシピ



<材料> (1人分)

えだまめ	20g
きゅうり	15g
パプリカ(赤)	8g
パプリカ(黄)	8g
まぐろ水煮	15g
A	
食塩	0.2g
米酢	1.5g
カレー粉	0.3g
マヨネーズ	2.5g

カラフルカレーサラダ

今回は病院食のレシピ第4弾としてカラフルカレーサラダを紹介します。

いつもは生野菜をドレッシングやマヨネーズで食べることが多いと思いますが、少量のカレー粉を入れるだけであり手間もかからず、あしゃれなサラダが出来ます。

<作り方>

- ① えだまめを軟らかくなるまで茹でる
- ② きゅうりは短冊切りまたは千切りにする
- ③ パプリカ(赤)(黄)をスライスする
(食べにくければサッと茹でて下さい)
- ④ Aの調味料を合わせドレッシングを作る
- ⑤ ①～③合わせて④で作ったドレッシングをからめて出来上がり

栄養量

エネルギー 98kcal、たんぱく質 5.7 g
脂質 6.7 g、炭水化物 4.1 g、塩分 0.3 g



大規模
災害訓練



写真館



X'mas
ロビー
コンサート



編集後記

今号の6・7ページでは当院で働かれている看護師、女性医師、検査技師の活躍について紹介させていただきました。当院では4ページの特集「院内保育所」を設ける等、出産後も仕事と育児が両立できるようなサポート体制を整えています。当院で活躍されている女性スタッフがこれから社会進出を考えている人の励みや希望となれば幸いです。広報誌うららは過去発行分も含め、市民病院ホームページからもダウンロードしていただけます。送付を希望される方は下記電話番号までお電話ください。



市立岸和田市民病院

〒596-8501 岸和田市額原町1001番地
TEL.072-445-1000 FAX.072-441-8812
URL <http://www.kishiwada-hospital.com/info/magazine.html>